

旭川WBC・旭川市教育委員会共催
連携公開講座「あさひかわ学」

1月18日(火) PM3時～4時

「生産地から発信するデザイン～学校用家具における地域交流の事例から～」
東海大学 芸術工学部 暮らしデザイン学科 中尾紀行先生

概要：2010年春、東川町にある唯一の中学校に地元産の木製家具が導入された。その開発に当たっては様々な試行錯誤があり、最終的には産地だからこそできる教育的効果と地域交流の促進を視野に入れた学童家具が提案されることとなった。

消費地から発信される情報が多くを占める中、その開発の経緯から生産地から発信されるデザインについてお話していただきました。



- ※参加 18 名
- ・東川町の「君の椅子」プロジェクトの取組みを例にしたお話はわかりやすく大変興味をもちました。
 - ・「物を大事に使う」について現代の大量消費型社会では、もう一度考え直してみる必要があると思いました。
 - ・机・椅子にこれほどの思い、情熱が入っていてそれを使う子供達も充分理解する～教育は実践であると感じました。

(アンケートから) ※